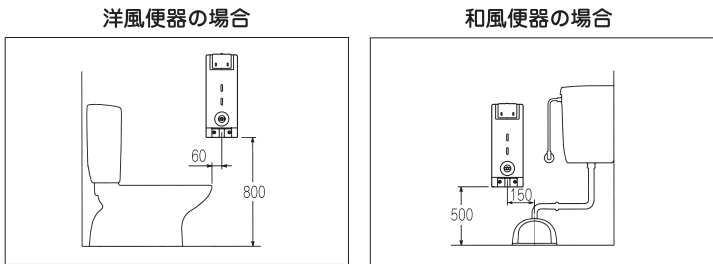
INAX

縦4連ストック付紙巻器　KF-43A

商品の機能が 100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

●取付位置

下図は取付参考位置です。現場の状況に応じて取付位置を決めてください。

洋風便器の場合

和風便器の場合

●安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

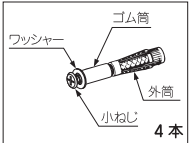
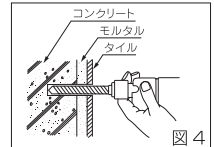
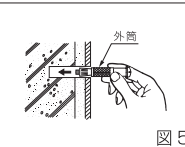
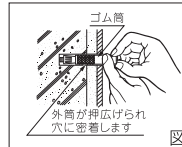
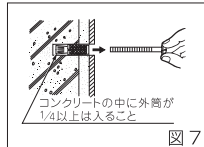
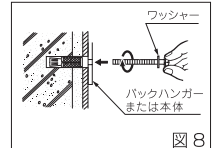
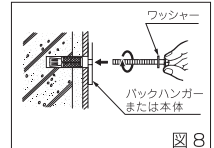
用語および記号の説明

注意 ……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

❗（指示） ……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注　意

外れたり、がたが生じないように、強固に取り付けてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	❗（指示）
壁自体に強度がない場合は厚み 18mm 以上の構造用合板（JAS 規格品）または、同等以上の下地材（30mm 以上の補強木等）を設けておいてください。 ※土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると商品が外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒しケガをする恐れがあります。	❗（指示）
取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、AY ボルトを使用してください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	❗（指示）

●施工方法

※壁に不陸がある場合、ワッシャーやスペーサーを用いてフラット面を確保してください。
※ペーパー補充のため、紙巻器の上側に 200mm 以上の空間を確保してください。

壁工法	取付部材	❗ 施工上の注意	施　工　要　領
乾式壁	タッピンねじ 同梱部材 タッピンねじ（ワッシャーヘッド）呼び4、L=30　4 本 必ず同梱のものを使用してください。	壁自体に強度がない場合は厚み 18mm 以上の構造用合板（JAS 規格品）または、同等以上の下地材（30mm 以上の補強木等）を設けておいてください。	1. バックハンガーが水平になるように取付穴位置をマークします。（図 1） 2. 下穴を 2 箇所あけます。下穴径はφ 3 ～ 3.5mm（深さ 30mm）です。 3. 2 本のタッピンねじで取り付けます。 4. バックハンガーに本体裏のフックを引っ掛けます。（図 2） 5. 本体を垂直にして、本体の下側の取付穴位置をマークします。 6. 本体を外し、下穴を 2 箇所あけます。下穴径はφ 3 ～ 3.5mm（深さ 30mm）です。 7. 本体をバックハンガーに引っ掛けて、本体の下側を 2 本のタッピンねじで取り付けます。（図 3） ※長さ 120mm 以上のドライバーが必要です。

図 1
図 2
図 3
※ボード張りの厚みが 12.5mm を超える場合は、超えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

壁工法	取付部材	施工上の注意	施　工　要　領
湿式壁	AY ボルト（別途） ワッシャー／ゴム筒／外筒／小ねじ　4 本	・壁仕上材（モルタル、モルタル＋タイル）の厚みは 20mm 以下としてください。 ・20mm を越える場合は、越えた分だけ長い AY ボルトを別途用意してください。 ・当社の AY ボルトを使用できる壁仕上材の厚さは次の通りです。	1. バックハンガーが水平になるように取付穴位置をマークします。（図 1） 2. コンクリートドリルを使用して下穴をあけます。（図 4）　※下穴寸法は下表の通りです。 3. 外筒をボルトに取り付けたまま下穴に差し込みます。（図 5） 4. ゴム筒の端を壁面から出ないように押さえて､小ねじの頭部を強く引っ張ってから小ねじを外します。（図 6）（図 7） 5. バックハンガーを小ねじで取り付けます。（図 8） 6. バックハンガーに本体裏のフックを引っ掛けます。（図 2） 7. 本体を垂直にして、本体の下側の取付穴位置をマークします。 8. 本体を一旦外し、コンクリートドリルを使用して下穴を 2 箇所あけます。（図 4） 9. 外筒をボルトに取り付けたまま下穴に差し込みます。（図 5） 10. ゴム筒の端を壁面から出ないように押さえて､小ねじの頭部を強く引っ張ってから小ねじを外します。（図 6）（図 7） 11. 本体をバックハンガーに引っ掛けて、本体の下側を小ねじで取り付けます。（図 8）

壁仕上材の厚さ	当社 AY ボルト	備考
20mm 以下	AY-21W	別売
20mm～30mm	AY-22W	別売
30mm 以上	なし	別途用意

図 4（コンクリート／モルタル／タイル）　図 5（外筒）　図 6（ゴム筒／外筒が押広げられ穴に密着します）　図 7（コンクリートの中に外筒が 1/4以上は入ること）　図 8（ワッシャー／バックハンガーまたは本体）

AY ボルト	下穴寸法（穴径×深さ）	備　考
AY-21W（M4 × 40）	φ 7.5 × 45	別　売
AY-22W（M4 × 50）	φ 7.5 × 55	別　売

※ ALC 板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
※木ずり下地、ラスボード下地への取り付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に厚さ 15mm 以上の取付木を入れ、必要な板厚を確保してください。

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173
受付時間　平日　9:00 ～ 18:00
土日・祝日 10:00 ～ 18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP 電話などでご利用になれない場合があります。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

PSZ-1233(11040)

INAX

縦4連ストック付紙巻器　KF-43A
取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

●各部の名称

<KF-43A>

●安全上のご注意

- ご使用の前に、この｢安全上のご注意｣をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意 ……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

（禁止） ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

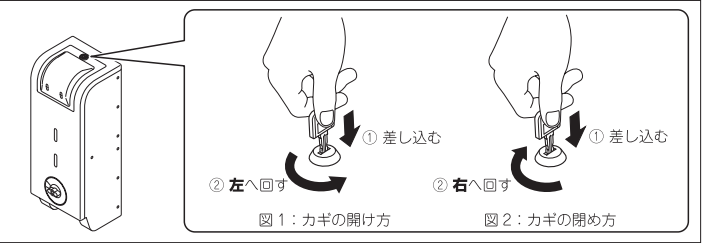
（分解禁止） ……「分解してはいけません！」

⚠注　意

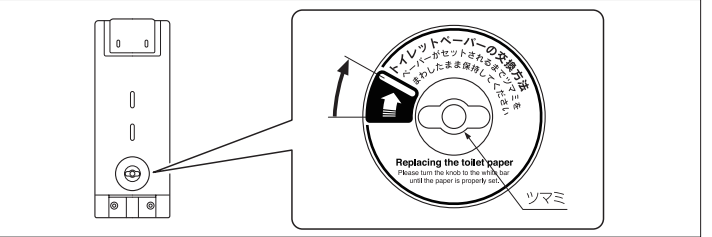
修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	（分解禁止）
商品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。 ※商品や部材の破損や転落により、ケガや重大事故につながる恐れがあります。	（禁止）
温風機、ドライヤー等で熱を直接あてないでください。 ※変形し割れたり折れやすくなり、ケガをする恐れがあります。	（禁止）
中性洗剤以外の洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールは使用しないでください。 ※樹脂が割れてケガの原因となります。 ※表面に印刷された文字がはがれます。	（禁止）
固いものをぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。 ※商品が割れたり、バリによりケガをする恐れがあります。	（禁止）
タバコの火など本体に当てないでください。 ※火災の恐れがあります。	（禁止）

●トイレットペーパーの補充方法

（1）カギをカギ穴に差し込み、**左**へ 90°回します。（図 1）
（2）カバーを開けてトイレットペーパーを入れてください。
（3）カバーを閉めてカギをカギ穴に差し込み、**右**へ 90°回します。（図 2）
※カギを付けたまま作業したり、放置しないでください。
※変形したペーパーを入れないでください。
※逆向きに入れないでください。
※縦に入れないでください。
※使い古しを入れないでください。

図 1：カギの開け方　図 2：カギの閉め方

●トイレットペーパーの交換方法

お願い	直径φ105 ～ 115mm、幅 112 ～ 116mm、芯の内径φ32 ～ 39mm の変形していないペーパーを使用してください。それ以外のペーパーですと、ペーパーが補充できなかったり、ペーパーがセットできないためご使用なれません。

※中心部の穴径がφ 32 ～ 39mm であれば、芯無しペーパーもご使用いただけます。
完全にペーパーがなくならないとツマミはまわりません。
本体正面のツマミをペーパーがセットされるまでまわしたまま保持してください。

●お手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
  汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと水ぶきをした後、乾いた布で水分をふきとってください。
- 商品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
  - クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
  - 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
  - ナイロンたわし、ブラシ等
  - シンナー、ベンジン等の溶剤

  特に、壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、すぐに十分な水ぶきをするのを忘れないでください。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

お客さま相談センターへ
TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30
受付時間
平日　9:00～18:00
土日・祝日10:00～18:00
（夏期、年末年始の休みは除く）
※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL 0562－40－4050　FAX 0562－40－4053

修理のご依頼は

お求めの取扱店またはINAXメンテナンス修理受付センターへ
ホームページアドレス http://www.i-mate.co.jp
TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56
受付時間　9:00～20:00
365日受付＆修理

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。